

100	99	98	97	96	95	94	93	92	91	番号 ばんごう	上の句 かみく	下の句 しもく	作者 さくしゃ
<p>暗闇に光を灯す 蠟燭は</p> <p>くらやみにひかりをともしろうそくは</p>	<p>意を決し引いたガチャでは大爆死</p> <p>いをけっしひいたがちゃではだいばくし</p>	<p>おかあさん怒るととてもこわいけど</p> <p>おかあさんおこるととてもこわいけど</p>	<p>オルガンの音を聞きながら休み時間</p> <p>おるがんのねをききながらやすみじかん</p>	<p>黒板の粉は知識の量示す</p> <p>こくばんのこなはちしきのりようしめす</p>	<p>風邪の日に林檎の皮剥く 母親の</p> <p>かぜのひにりんごのかわむくははおやの</p>	<p>梅雨の日の雨はしとしと降るけれど</p> <p>つゆのひのあめはしとしとふるけれど</p>	<p>今度こそ丁寧な字でノート取る</p> <p>こんどこそていねいなじでのーととる</p>	<p>お餅食べこたつでみかん食べた後</p> <p>おもちたべこたつでみかんとべたあと</p>	<p>田舎町 大きなお店は無いけれど</p> <p>いなかまち おおきなおみせはないけれど</p>	番号	上の句	下の句	作者
<p>どの光よりも美しくなる</p> <p>どのひかりよりもうつくしくなる</p>	<p>考えたんだ運ってなあに</p> <p>かんがえたんだうんってなあに</p>	<p>私のためにいつもありがとう</p> <p>わたしのためにいつもありがとう</p>	<p>何をしようかと考えている</p> <p>なにをしようかとかんがえている</p>	<p>積もる分だけ僕らは賢い</p> <p>つもるぶんだけぼくらはかしこい</p>	<p>どこか悲しげな一つの溜め息</p> <p>どこかなしげなひとつのためいき</p>	<p>いつも通りに本を読む日々</p> <p>いつもどおりにほんをよむひび</p>	<p>決意はわずか2ページで折れ</p> <p>けついはわずかにぺーじでおれ</p>	<p>体重計はみんなの敵だ</p> <p>たいじゅうけいはみんなのてきだ</p>	<p>自然あふれる幸せの町</p> <p>しぜんあふれるしあわせのまち</p>	番号	上の句	下の句	作者
夜未吉野飛火莉	田中先生	ちーちゃん	ひよこ	かむしゃふと	曜	ちい	何卒エンジン	ささみ	たかな	番号	上の句	下の句	作者